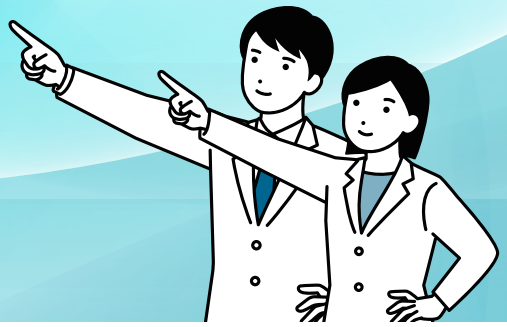
病院薬剤師への招待

一般社団法人日本病院薬剤師会
Japanese Society of hospital Pharmacists

病院薬剤師として患者の薬物治療管理、チーム医療に貢献しよう！

全国の病院薬剤師約57,000名は、全国の約8,100の病院において、院内では多くの医療職種と、院外では薬局薬剤師などと連携して、患者に最適な薬物療法を提供しています。病院薬剤師の仕事は、各病院の病床数、診療科、院外処方率、業務分担等に応じて、薬に関して総合的に対応する薬剤師、専門分野に特化する薬剤師、他職種と協働してチームで業務を行う薬剤師など多岐に渡っており、高度な薬学的知識や技術を基に医療現場で多くの業務を行っています。



病院薬剤師のやりがい・魅力

病院薬剤師は、最前線の医療現場で業務を行うため、大きなやりがいがあります。

1 臨床現場における専門性の高い薬物療法の実施

・患者さんの状況を確認し、専門的な観点から服薬指導や処方提案を行うことで、患者さんにとって最良の医療を提供できる。
・カルテ、検査値を把握でき、個々の患者さんに最適な薬物療法を提供できる。
・内用薬、外用薬だけでなく注射薬、院内製剤など様々な医薬品を取り扱うことができ、さらに最新の医療に関わることができる。
・入院していた患者さんが元気になり、笑顔で退院していく姿を見ることができ、患者さんやご家族から感謝される。

2 医師・他職種と充実したコミュニケーション、チーム医療への貢献

・医師や看護師をはじめ、院内の様々なスタッフと関わることができ、コミュニケーション能力を高めることができる。
・チーム医療の一員として、多くのスタッフと患者の薬物治療についてディスカッションし、患者の治療に直接関わることができる。

3 薬剤師のキャリアアップに最適な環境

・日々、最新の治療が行われている臨床現場で働くことで、医薬品に関する知識だけではなく総合的な医療知識を深めることができる。
・カンファレンスや院内外の勉強会や研究会などで、多くのことを学ぶことができる機会があり、知識レベルを高めることができる。
・臨床現場におけるクリニカルクエスチョンを研究対象として学会発表を行い、論文化することで新規のエビデンス構築に貢献できる。
・認定薬剤師・専門薬剤師に求められる専門性の高い薬物療法の実績を積むことができる。

※日本病院薬剤師会が令和５年10月に実施した病院薬剤師労働条件調査（回答施設2,114施設）では、回答施設の74.7％で薬剤師が参加できる組織横断的な施設研修ありと回答があり、78.1％で研修参加への助成ありと回答がありました。

病院機能に応じた病院薬剤師の主な業務

高度急性期・急性期

・入院前の患者の服薬状況等の確認
・集中治療室・病棟等における薬学的管理・指導
・周術期の薬剤管理
・転棟や転院時における患者情報の関係者間での共有

回復期

・早期回復を目指した多職種との連携
・嚥下・運動機能等にあわせた薬物療法の提案と服薬支援
・転院・転所先の環境を踏まえた薬剤の調整
・退院後に関わる外来・在宅医療スタッフとの連携

慢性期

・在宅復帰を目指した多職種との連携
・嚥下・運動機能等にあわせた薬物療法の提案と服薬支援
・医師・看護師、薬局薬剤師、介護関係者間への服薬に関する情報の提供
・外来・在宅に移行する際の服薬状況等の患者情報の提供

外来・在宅

・複数診療料受診時も含む、服薬情報の一元的・継続的な把握とそれに基づく薬学的管理・指導
・外来・在宅医療に関わる医師・薬局薬剤師等との連携及び連携のサポート
・必要に応じて、他の医療機関への服薬状況等の患者情報の提供

チーム医療への参画

各医療職種の専門性を発揮して積極的な協働・連携を図ることにより、患者の状況に的確に対応した医療サービスを提供するために、チーム医療の推進が図られています。薬剤師は、薬物療法の高度化を背景に、医療の質の向上、医療安全の確保の観点から、数多くのチームに参加しており、○栄養サポートチーム○外来がん化学療法チーム○緩和ケアチーム○感染制御チーム○抗菌薬適正使用支援チーム○褥瘡対策チーム○糖尿病チーム○精神科チーム○周術期チームなどで活躍しています。

その他調剤、注射薬の混合調整、院内製剤、医薬品情報管理（DI）、医療安全等の業務を含め、病院薬剤師は高度な専門性を発揮し、患者の薬物治療管理、チーム医療に貢献します。

全国の病院数・病床数等について

病院数　8,122施設

100床未満	2,196施設（27.0%）
100～299床	3,801施設（46.8%）
300～499床	1,024施設（12.6%）
500床以上	381施設（4.7%）

令和５（2023）年医療施設（静態・動態）調査（厚生労働省）

病床数　119.3万床

高度急性期	16.0万床（13%）
急　性　期	52.5万床（44%）
回　復　期	20.4万床（17%）
慢　性　期	30.3万床（25%）

2023年度病床機能報告　速報値（厚生労働省）

薬剤師確保に向けた取り組み等について

・令和３年６月に公表された「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会とりまとめ」（厚生労働省）では、薬剤師の従事先には地域偏在や業態偏在があり、特に**病院薬剤師の確保が喫緊の課題**として示されました。

・令和５年６月には医療需要（ニーズ）に基づき、地域ごと、薬剤師の業種ごとの薬剤師数の多寡を統一的・客観的に把握するため「**薬剤師偏在指標**」が算定・公表されました。全都道府県ベースとして、**令和５年６月時点**の医療需要では、**病院薬剤師0.80**、薬局薬剤師1.08が、**2036年度の医療需要予測**では、**病院薬剤師0.82**、薬局薬剤師1.22と算定されました（目標偏在指標1.0）。
また、薬剤師確保計画ガイドラインでは薬剤師確保の施策として「給与制度の見直しの促進」が挙げられており、「全国の薬剤師の給与水準の分析結果から、**病院・薬局間の平均的な生涯年収は同程度と予測される**中、20～40代の薬剤師の給与水準は病院の方が薬局より低く、50代では病院の方が高いという結果が出ている。このため、**若手薬剤師の確保・定着という観点から病院における昇給カーブの見直しなど給与体系の見直しを促進することや手当による処遇面の対応も有用と考えられる。**」と示されています。

・令和６年度から各都道府県で**薬剤師確保計画**に基づく様々な**薬剤師偏在対策**を検討・実施されています。

・令和６年度**国家公務員の病院薬剤師初任給**は244,400円／月です（令和元年比16.1％増、**令和４年から３年連続増**）。

日本病院薬剤師会について

日本病院薬剤師会は、病院・診療所・介護保険施設に籍を有する薬剤師約47,700名を正会員とする団体として、質の高い薬物療法の提供を通じて、国民の健康及び福祉の増進に貢献するために全国47都道府県病院薬剤師会と連携して活動を行っています。

日本病院薬剤師会の主な事業

● **日本病院薬剤師会は病院薬剤師の職能拡大、資質向上、病院薬剤師不足・偏在解消**に取り組んでいます！

- 病棟業務および外来業務の推進
- 医療連携の推進
- 調査研究の推進
- 会員への情報提供及び啓発事業の充実
- チーム医療の推進
- 医療安全対策の推進
- 災害への対策・対応
- 国際交流事業の推進
- 病院薬剤師の資質向上
- 病院、診療所、介護保険施設等の薬剤師業務への取り組み
- 薬剤師養成のための薬学教育への協力

● **５領域（がん、感染制御、精神科、妊婦・授乳婦、HIV感染症）の専門薬剤師制度**を実施しています！

● **日病薬病院薬学認定薬剤師（薬剤師認定制度認証機構の特定領域認定制度の認証取得）**を実施しています！

● **薬剤師個人の責任を補償する薬剤師賠償責任保険**に加入することができます。
薬剤師賠償責任保険加入者数：26,935名（保険期間令和６年12月20日から１年間、年間保険料例2,300円／名）

日本病院薬剤師会　会員数

全国の病院に勤務する薬剤師の約８割が日本病院薬剤師会に入会しています！
病院、診療所、介護保険施設以外の薬剤師も入会できます！

令和７年１月現在

正　会　員 病院、診療所、介護保険施設に籍を有する薬剤師	47,777名
特 別 会 員 正会員以外の薬剤師免許を持つ個人（薬局、薬科大学、企業等）	2,729名

日本病院薬剤師会　求人・求職システム（利用・登録無料）

求人情報の検索や求人情報掲載施設からスカウトメッセージを受信することが可能です。
是非日本病院薬剤師会　求人・求職システムにご登録下さい！

詳しい内容はこちらから

JSHP
一般社団法人日本病院薬剤師会
Japanese Society of Hospital Pharmacists

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷2-12-15 日本薬学会長井記念館８階
TEL：03-3406-0485　FAX：03-3797-5303
ホームページURL：https://www.jshp.or.jp/index.html